

農地法第4条第1項の規定による許可申請書

年 月 日

広川町農業委員会 会長 様

申請者 氏名 広川 太郎 印

下記によって農地を転用したいので農地法第4条第1項の規定によって許可を申請します。

1 申請者の住所等	住 所							職 業			
	和歌山県有田郡広川町大字広1500番地							農 業			
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在	地 番	地 目		面積	利用状況	10 a 当たり 普通収穫高	耕作者の 氏 名	市街化区域・市街化 調整区域・その他の 区域の別		
			登記簿	現 況							
	広川町大字広字〇〇	100	畑	畑	300㎡	果樹園	900kg	広川 太郎	その他の区域		
計		300 ㎡ (田		㎡、畑		300 ㎡)					
3 転用計画	(1) 転用事由の詳細	用 途	事由の詳細								
		住 宅	現在アパート住まいであるが、家族が増え手狭になったので、住宅を新築する。 (具体的に記載してください) ・書ききれない場合は(別紙のとおり)とし、別紙に記載								
	(2) 事業の操業期間 又は施設の利用期間	〇〇年〇月〇日から 永久 年間									
	(3) 転用の時期及び 転用の目的に係る 事業又は施設の概要	工 事 計 画	第1期(第〇〇年〇月〇日から〇〇年〇月〇日まで)			第 2 期			合 計		
			名 称	棟 数	建築面積	所要面積		棟 数	建築面積	所要面積	
		土地造成			300㎡				300㎡		
		建築物	木造2階建 住宅	1棟	130㎡		1棟	130㎡			
小 計			1棟	130㎡	300㎡	1棟	130㎡	300㎡			
工作物											
小 計											
計		1棟	130㎡	300㎡		1棟	130㎡	300㎡			
4 資金調達についての 計画	自己資金 1,500万円 借入金 2,000万円										
5 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要	排水については、合併処理浄化槽を設置し処理した後、既存側溝に排出し被害のないようにします。 造成により盛土をするが法面が雨水等により崩壊しないよう、コンクリートブロックを設置し土砂及び雨水の流出を防ぎます。 周囲にネットやフェンス等を施行し、被害を与えないようにします。 ※上記は(例)です。被害の防除施設の概要等を具体的に記載してください。										
6 その他参考となるべき事項	転用申請の前に申請地を農用地区域から除外した場合はその旨を記入する。 年 月 日 除外済み										

(記載要領)

- 1 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を自署する場合においては、押印を省略することができます。
- 2 法人である場合は、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容をそれぞれ記載してください。
- 3 「利用状況」欄には、田にあっては二毛作、一毛作の別、畑にあっては普通畑、果樹園、桑園、茶園、牧草畑、その他の別を記載してください。
- 4 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、申請土地が都市計画法による市街化区域、市街化調整区域又はこれ以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
- 5 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄は、工事計画が長期にわたるものである場合には、できる限り工事計画を6箇月単位で区分して記載してください。
- 6 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合においては、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条の建築許可を要しないものであるときは、その旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当号を、転用行為が開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当号を、転用行為が建築許可を要するものであるときは、その旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。